

覚えてみよう！使ってみよう！

手話で話そう！

問＝福祉課 Tel 23-0111

手話言語条例を知っていますか？

市では、手話が言語であることの認識に基づいて、手話の理解や普及を図り、すべての市民が共生することができる地域社会の実現を目指して、平成30年に小林市手話言語条例を制定しました。

主な取り組みとしては、小中学校での手話の学習、生涯学習での講座、より専門性を高めるための講習会、手話通訳者の派遣などを行っています。

このコーナーでは、来月号から日常で使える手話を毎月紹介します。この機会に手話を覚えてろう者の方とコミュニケーションをとってみませんか？

手話講習会を行っています

手話によるあいさつや自己紹介、簡単な会話を理解できるようにすることを目指します。気軽に参加ください。

小林会場 毎週水曜開催

昼の部 10時～11時30分、**夜の部** 19時30分～21時

会場 小林市社会福祉センター別館

野尻会場 毎週火曜開催

19時30分～21時

会場 野尻社会福祉センター（友愛会館）

受講料 無料（初回のみテキスト代500円）

申・問 福祉課（Tel 23-0111）までご連絡ください

健康のまちづくり拠点施設整備

つうしん

新体育館建設の工事開始時期

健康づくり機能、子育て支援機能、避難所機能を備えた複合型の新市民体育館「健康のまちづくり拠点施設」は、昨年12月に建設業者を決定し、現在、詳細を決定する「実施設計」を行っています。

【工事開始時期】

○新体育館の準備工事 令和6年8月～

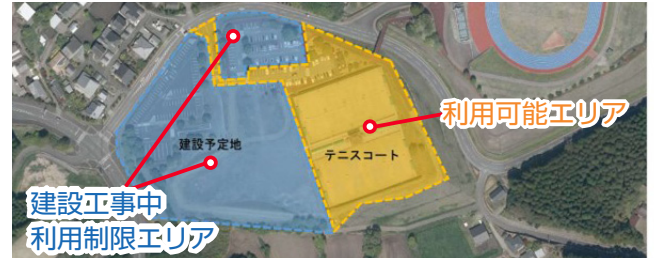
○新体育館の本体工事 令和6年10月～

○完成予定 令和8年3月

令和6年8月以降は、建設予定地及び駐車場とクロスカントリーコースの一部が利用制限エリアとなります。なお、テニスコートは利用可能です。

市民の皆さまには完成までの間、ご不便をおかけしますがご理解とご協力をお願いします。

建設予定地の総合運動公園（南西方十三塚）



※工事開始時期や制限エリアは変更する場合があります

問＝建設課 Tel 23-0311

たばこが妊婦や胎児に与える悪影響

子育て世帯の皆さん、禁煙について考えてみませんか



妊婦本人の喫煙・受動喫煙

煙に含まれる有害物質

ニコチン

活性酸素

一酸化炭素



胎児・胎盤の低酸素状態
胎盤の老化促進・機能低下

胎児・乳幼児への悪影響の例

流産・早産

低出生体重児

乳幼児突然死症候群(※)

慢性呼吸器疾患

喘息の悪化

中耳炎

毎年5月31日は世界禁煙デーです

5月31日は、WHO（世界保健機関）が定めた「世界禁煙デー」です。また、厚生労働省では毎年5月31日から6月6日を「禁煙週間」と定めています。

今回は、たばこが妊娠中の女性（以下、「妊婦」）や子どもの健康に与える影響について紹介します。

妊婦本人の喫煙だけでなく、まわりの喫煙によって吐き出される煙やたばこから立ち上る煙を吸わされてしまう「受動喫煙」は、妊婦だけでなく、胎児や子どもの発育に悪影響を及ぼすことが知られています。

たばこの煙に含まれる有害物質は、ニコチンや一酸化炭素、活性酸素です。これらは、胎児・胎盤の低酸素状態や、胎盤の老化促進・機能低下を起し、低出生体重児や早産のリスクを高めます。

また、乳幼児突然死症候群(※)の要因となることが明らかにされています。ほかに、喘息の悪化、慢性呼吸器疾患、中耳炎などの原因にもなります。

たばこの影響を知り、受動喫煙をなくすことで、妊婦や子どもの健康を守りましょう。

たばこの影響を知り
妊婦や子どもを守ろう

※それまで元気だった赤ちゃんが、何の予兆や病歴のないまま眠っている間に突然死亡してしまうこと

元気の知恵袋

●問＝こども課 Tel 23-4319